

## 行政調査報告書「経済福祉常任委員会」

平成 26 年 7 月 16 日（水）～18 日（金）

### ■広島県呉市『医療費適正化に向けた取組について』

呉市は、人口約 24 万人、65 歳以上の高齢化率は約 32%で、同規模の人口都市との比較では全国第一位である。住民の約 23%が国保加入者であり、1 人当たりの医療費は年間約 41 万 3,000 円と高く、財政を圧迫していた。そこで、平成 20 年度からレセプトデータベースを活用した医療費分析を行うことで、先進的な取り組みをしている。主な取り組みとして、

①レセプト点検の充実・効率化 ②レセプト情報の活用による医療費などの分析 ③ジェネリック医薬品の使用促進通知 ④訪問指導・重症化予防などの各種保健事業などを行うことにより、財源確保や保険料率引き上げの抑制を図っていた。

本市も、健診の受診率を上げて重症化を予防するなど、さらなる取り組みを進めていかなければならないと考える。



### ■山口県防府市『クリーンセンター整備事業について』



防府市クリーンセンターは、ごみ処理施設にバイオガス化施設を併設した点に特徴があり、国から交付金を受け、今年 4 月に供用開始した。償却処理とバイオガス化処理するバランスを見定め、いかにバイオガス化に適したごみを選別施設に送れるかが課題となっていた。

本市では、碧南市、高浜市と共同で広域ごみ処理施設を建設する構想がある。コスト面、バイオガス化の利点、市民の分別への理解と協力が必要な点など、次期施設を選定する際に考慮すべき事項について参考となった。

### ■北九州市『学術研究都市 産学連携センター及び事業化支援センターについて』

平成 13 年 4 月にオープンしたキャンパスには、大学（1 学部 4 大学院）、研究機関（16 機関）、研究開発型企业など 48 社）が集積している。北九州市から運営を委託されている公益財団法人北九州産業学術推進機構（F A I S）は、大学等のシーズと地域企業等のニーズをつなぐコーディネート活動をはじめ、産学連携による研究開発への助成や研究成果の事業化支援等にも取り組んでいる。



本市においては、理工系の大学がないなど条件面が異なり、同様な産・学・官連携は困難である。本市の中小企業コーディネータ制度を活用するとともに、県とも連携して体制を整えていく必要があると考える。